

# ワールド・ウォーター・ファンド Aコース／Bコース

## 運用報告書(全体版)

第19期(決算日2023年4月10日)

作成対象期間(2022年4月12日～2023年4月10日)

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
なお、当ファンドは、2022年12月23日に信託期間を延長する約款変更を行ない、信託期間終了日は2029年4月10日となりましたので、ご留意下さい。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

	Aコース	Bコース
商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2004年3月26日から2029年4月10日までです。	
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。実質的な株式の投資にあたっては、世界の水関連企業の株式を主体に、空気関連企業の株式も加えて投資を行なうことを基本とします。 銘柄選定にあたっては、これらの投資対象企業の中から、高い成長が期待される企業、または安定した収益が期待される企業の株式を、ボトムアップの観点で調査・分析し、バリュエーションを勘案して投資銘柄を選定します。 株式の実質組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行ない 替変動リスクの低減を図ることを目指します。ません。	
主な投資対象	ワールド・ウォーター・ファンド Aコース/Bコース	ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資する場合があります。
	ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	世界の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	ワールド・ウォーター・ファンド Aコース/Bコース	株式への実質投資割合には制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益等から、基準価額の水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。	

## 野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号



サポートダイヤル 0120-753104  
(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

## &lt;Aコース&gt;

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税金分配	み騰落率	騰落率	騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
15期(2019年4月10日)	20,542	650	5.9	246.72	7.3	98.3	—	1,664
16期(2020年4月10日)	19,390	550	△2.9	230.37	△6.6	96.0	—	3,137
17期(2021年4月12日)	25,985	1,200	40.2	337.26	46.4	97.4	—	3,251
18期(2022年4月11日)	26,189	1,200	5.4	362.12	7.4	98.6	—	3,409
19期(2023年4月10日)	22,680	900	△10.0	337.36	△6.8	99.1	—	2,628

\*基準価額の騰落率は分配金込み。

\*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

\*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

\*参考指数(=MSCI ワールド インデックス フリー (円ヘッジベース))は、MSCI World Index Free (現地通貨ベース)をもとに、当社が独自にヘッジコストを考慮して、円換算したものです。  
 \*MSCI World Index Free (現地通貨ベース)は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。  
 (出所:MSCI、ブルームバーグ)

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率		
(期首)	円	%		%	%	%
2022年4月11日	26,189	—	362.12	—	98.6	—
4月末	24,964	△4.7	341.84	△5.6	94.5	—
5月末	24,863	△5.1	341.58	△5.7	98.0	—
6月末	22,989	△12.2	315.96	△12.7	98.8	—
7月末	24,681	△5.8	333.13	△8.0	96.2	—
8月末	24,047	△8.2	327.64	△9.5	98.7	—
9月末	22,003	△16.0	300.43	△17.0	98.7	—
10月末	23,144	△11.6	319.82	△11.7	97.5	—
11月末	23,837	△9.0	327.84	△9.5	97.1	—
12月末	23,612	△9.8	318.87	△11.9	94.6	—
2023年1月末	24,214	△7.5	333.68	△7.9	98.2	—
2月末	23,915	△8.7	331.73	△8.4	101.4	—
3月末	23,781	△9.2	334.30	△7.7	100.2	—
(期末)						
2023年4月10日	23,580	△10.0	337.36	△6.8	99.1	—

\*期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

\*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

\*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

## &lt;Bコース&gt;

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税込分配金	期中騰落率	期中騰落率	期中騰落率			
15期(2019年4月10日)	円 23,126	円 750	% 9.2	318.89	% 10.9	% 99.2	% —	百万円 6,334
16期(2020年4月10日)	21,293	650	△ 5.1	293.90	△ 7.8	95.3	—	7,190
17期(2021年4月12日)	29,769	1,200	45.4	447.03	52.1	98.1	—	9,211
18期(2022年4月11日)	33,493	1,500	17.5	535.27	19.7	97.8	—	11,100
19期(2023年4月10日)	31,441	1,300	△ 2.2	539.12	0.7	98.3	—	10,089

\*基準価額の騰落率は分配金込み。

\*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

\*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*参考指数(=MSCI ワールド インデックス フリー (円換算ベース))は、MSCI World Index Free (現地通貨ベース)をもとに、当社が独自に円換算したものです。
*MSCI World Index Free (現地通貨ベース)は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
(出所: MSCI、ブルームバーグ)

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
		騰落率		騰落率		
(期首)	円	%		%	%	%
2022年4月11日	33,493	—	535.27	—	97.8	—
4月末	32,625	△2.6	517.07	△3.4	95.1	—
5月末	32,482	△3.0	516.22	△3.6	97.9	—
6月末	31,663	△5.5	504.08	△5.8	98.2	—
7月末	33,520	0.1	524.01	△2.1	97.2	—
8月末	33,434	△0.2	527.87	△1.4	99.0	—
9月末	31,720	△5.3	501.56	△6.3	98.4	—
10月末	34,380	2.6	548.45	2.5	98.2	—
11月末	33,700	0.6	534.27	△0.2	97.8	—
12月末	32,198	△3.9	502.02	△6.2	97.7	—
2023年1月末	32,769	△2.2	521.36	△2.6	98.6	—
2月末	33,706	0.6	538.83	0.7	99.0	—
3月末	33,187	△0.9	537.03	0.3	99.0	—
(期末)						
2023年4月10日	32,741	△2.2	539.12	0.7	98.3	—

\*期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

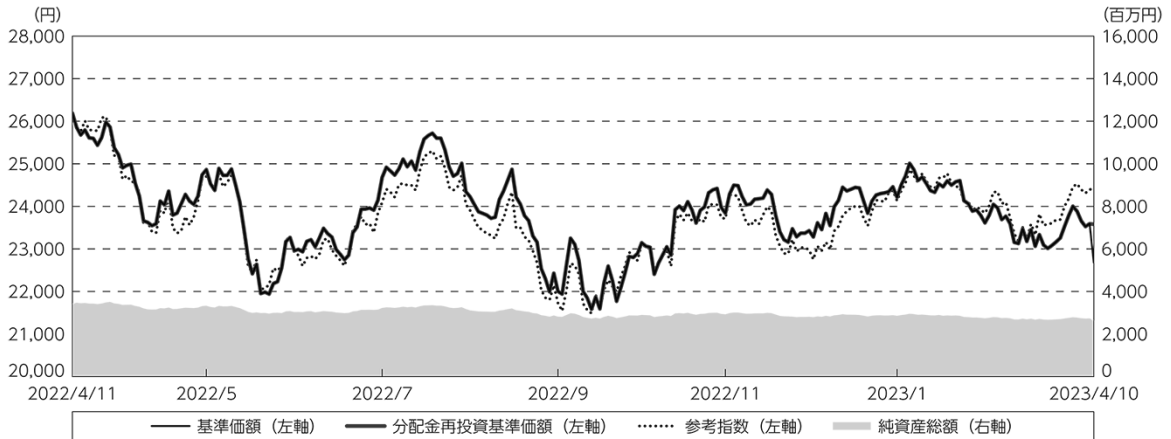
\*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

\*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

<Aコース>

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期 首：26,189円

期 末：22,680円 (既払分配金 (税込み) : 900円)

騰落率：△10.0% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首 (2022年4月11日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、MSCI ワールド インデックス フリー (円ヘッジベース) です。参考指数は、作成期首 (2022年4月11日) の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首26,189円から期末22,680円となりました。

(上昇)

- ・ 2022年7月、FRB (米連邦準備制度理事会) がFOMC (米連邦公開市場委員会) において市場想定通り0.75%の政策金利引き上げを決定し、過度な金融引き締め懸念が後退したことなど。
- ・ 2023年1月、2022年12月の雇用統計において賃金上昇率が前月から減速したこと、12月のISM非製造業景況感指数が市場予想に反して低下したことなどから、FRBの金融引き締め長期化への警戒が和らいだことなど。

## <Aコース>

(下落)

- ・ 2022年6月、5月の米国CPI（消費者物価指数）上昇率が4月と比較して加速したことで、FRBが金融引き締めを強化するとの警戒感が高まったことなど。
- ・ 2022年9月、8月の米国CPI上昇率が市場予想を上回ったことで、FOMCで大幅利上げが施されるとの観測が強まったこと、およびインフレが抑制されるまで利上げを継続するという米金融当局の姿勢が示されたことなど。

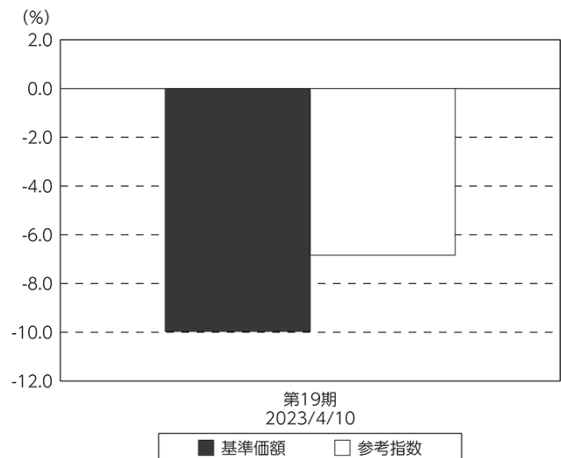
## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているMSCI ワールド インデックス フリー（円ヘッジベース）の6.8%の下落に対し、基準価額は10.0%の下落となりました。当ファンドは、世界の水関連企業の株式を主体に投資を行っており、投資している業種や銘柄には特色があります。このためMSCI ワールド インデックス フリー（円ヘッジベース）とは異なった動きをしています。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、MSCI ワールド インデックス フリー（円ヘッジベース）です。

## &lt;Aコース&gt;

## ◎分配金

基準価額水準などを勘案し、Aコースで1万口当たり900円の収益分配を行ないました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

## ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第19期
	2022年4月12日～ 2023年4月10日
当期分配金	900
(対基準価額比率)	3.817%
当期の収益	—
当期の収益以外	900
翌期繰越分配対象額	12,679

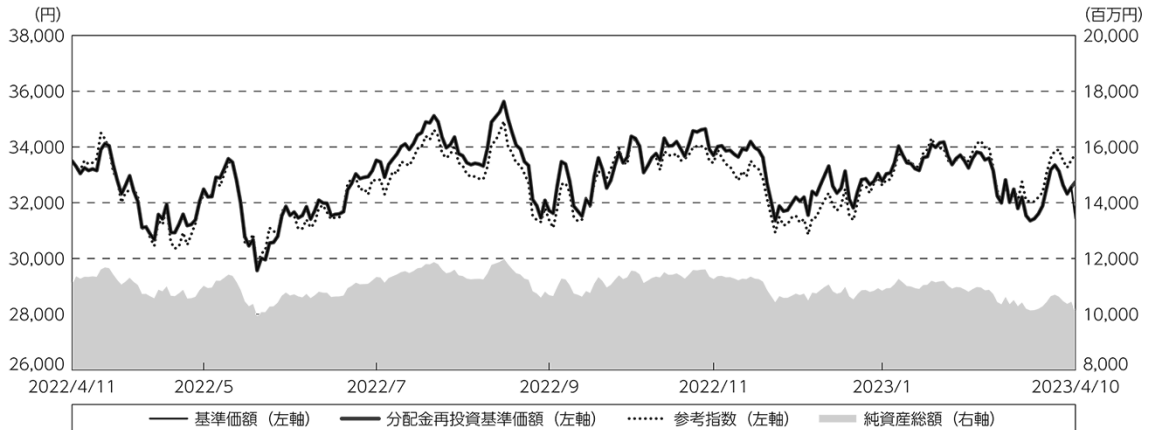
(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<Bコース>

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期 首：33,493円

期 末：31,441円 (既払分配金(税込み)：1,300円)

騰落率：△2.2% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2022年4月11日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、MSCI ワールド インデックス フリー (円換算ベース)です。参考指数は、作成期首(2022年4月11日)の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首33,493円から期末31,441円となりました。

(上昇)

- ・ 2022年7月、FRB(米連邦準備制度理事会)がFOMC(米連邦公開市場委員会)において市場想定通り0.75%の政策金利引き上げを決定し、過度な金融引き締め懸念が後退したことなど。
- ・ 2023年1月、2022年12月の雇用統計において賃金上昇率が前月から減速したこと、12月のISM非製造業景況感指数が市場予想に反して低下したことなどから、FRBの金融引き締め長期化への警戒が和らいだことなど。

## <Bコース>

(下落)

- ・2022年6月、5月の米国CPI（消費者物価指数）上昇率が4月と比較して加速したことで、FRBが金融引き締めを強化するとの警戒感が高まったことなど。
- ・2022年9月、8月の米国CPI上昇率が市場予想を上回ったことで、FOMCで大幅利上げが施されるとの観測が強まったこと、およびインフレが抑制されるまで利上げを継続するという米金融当局の姿勢が示されたことなど。

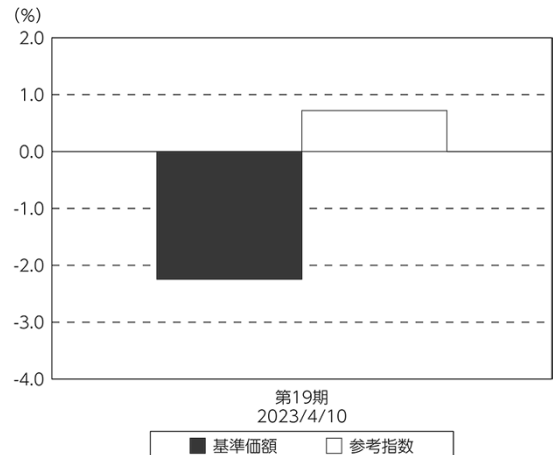
## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているMSCI ワールド インデックス フリー（円換算ベース）の0.7%の上昇に対し、基準価額は2.2%の下落となりました。当ファンドは、世界の水関連企業の株式を主体に投資を行っており、投資している業種や銘柄には特色があります。このためMSCI ワールド インデックス フリー（円換算ベース）とは異なった動きをしております。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、MSCI ワールド インデックス フリー（円換算ベース）です。



## &lt;Bコース&gt;

## ◎分配金

基準価額水準などを勘案し、Bコースで1万口当たり1,300円の収益分配を行ないました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

## ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第19期
	2022年4月12日～ 2023年4月10日
当期分配金 (対基準価額比率)	1,300 3.971%
当期の収益	—
当期の収益以外	1,300
翌期繰越分配対象額	21,441

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## <Aコース/Bコース>

### ○投資環境

期中の世界株式市場は、各国の金融・財政政策の行方やインフレなどの影響を受ける展開となりました。

為替市場は、米ドル円、ユーロ円ともに上昇（円安）しました。

### ○当ファンドのポートフォリオ

[ワールド・ウォーター・ファンド Aコース] および [ワールド・ウォーター・ファンド Bコース] は、主要投資対象である [ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れました。

### [ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド]

#### ・株式組入比率

期を通じておおむね高位を維持しました。

#### ・期中の主な動き

- (1) 世界の水関連企業の株式を主体に投資を行なうことを基本としました。
- (2) 銘柄選定にあたっては、上記の投資対象企業の中から、高い成長が期待される企業、または安定した収益が期待される企業の株式を、ボトムアップの観点で調査・分析し、バリュエーション（投資価値評価）を勘案して、投資銘柄を選定しました。
- (3) セクター、地域別では、
  - ①「装置製造・エンジニアリングセクター」と「上下水道ビジネスセクター」を中心に投資しました。
  - ②装置製造・エンジニアリングセクターについては、サプライチェーンの混乱の落ち着きによる利益率の改善、業績回復が見込める銘柄などに投資を行ないました。
  - ③上下水道ビジネスセクターについては、バリュエーションの観点から相対的に割安とみられる銘柄などに投資を行ないました。
  - ④環境マネジメント・サービスセクターについては、ビジネスモデルが景気後退局面に対する耐性があると期待される銘柄などに投資を行ないました。
  - ⑤主な売買では、カナダのエンジニアリングサービス会社の株式などを新規に組み入れ、一方で米国のテクノロジー・サービス・ソリューション供給会社の株式などを全売却しました。また、米国の水処理装置やサービスを提供する企業を買い増しし、米国の住宅リフォームや建築用品を扱うメーカーの株式などを一部売却しました。

<Aコース/Bコース>

[ワールド・ウォーター・ファンド Aコース]

・株式組入比率

実質株式組入比率は、期を通じておおむね高位を維持しました。

・為替ヘッジ

当ファンドの運用の基本方針に従い、実質外貨建資産に対して対円での為替ヘッジを行ない、為替変動リスクの低減を図りました。

[ワールド・ウォーター・ファンド Bコース]

・株式組入比率

実質株式組入比率は、期を通じておおむね高位を維持しました。

・為替ヘッジ

当ファンドの運用の基本方針に従い、為替ヘッジを行ないませんでした。

<Aコース/Bコース>

## ◎今後の運用方針

### [ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド]

2023年の見通しについては不透明感があり、世界各国のPMI（購買担当者景気指数）や企業の景況感がどのように推移するのか見通しにくい状況が続く可能性があります。FRBやECB（欧州中央銀行）による今後の金融政策動向に加え、これらの政策が株式のバリュエーションにどのように影響を及ぼすかなど注視していきます。一方で、インフレは足元鈍化しており一部経済指標は引き続き底堅い景気推移を示していることなどから、大幅な景気後退は避けられるとの見方もあります。今後については、各国の金融政策動向や経済指標、企業決算などを慎重に見極めていく必要があります。

中長期的に見ると、水関連インフラへの投資は必要不可欠であり、世界的に事業展開を行なう水関連銘柄のファンダメンタルズは堅調であると考えます。温暖化の影響から世界的な気候変動によって引き起こされる干ばつや洪水の問題なども、水関連インフラへの投資を呼び起こしています。経済活動の支えだけではなく、人々の生活を支える水関連銘柄は引き続き魅力的な投資対象であると考えています。

こうした環境の中、個別銘柄の選択に重点をおいた運用を継続します。足元の市場のボラティリティ（価格変動性）の高まりは個別銘柄のミスプライス（誤った値付け）をもたらし、魅力的な投資機会を与えるものと考えます。引き続き装置製造・エンジニアリングセクターと上下水道ビジネスセクターを中心としたバーベル型の運用（景気回復に伴って業績の回復が期待されるセクターと景気に左右されにくく、安定した業績を維持するセクターの保有）を行なっていきます。

### [ワールド・ウォーター・ファンド Aコース]

主要投資対象である [ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建資産については為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを目指します。

### [ワールド・ウォーター・ファンド Bコース]

主要投資対象である [ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建資産については為替ヘッジを行なわない方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしく願いいたします。

## &lt;Aコース&gt;

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年4月12日～2023年4月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	445	1.865	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(235)	(0.987)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(183)	(0.768)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	( 26)	(0.110)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	3	0.014	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	( 3)	(0.014)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	1	0.006	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	( 1)	(0.006)	
(d) そ の 他 費 用	8	0.034	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 7)	(0.028)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 1)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	( 1)	(0.003)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	457	1.919	
期中の平均基準価額は、23,837円です。			

\* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

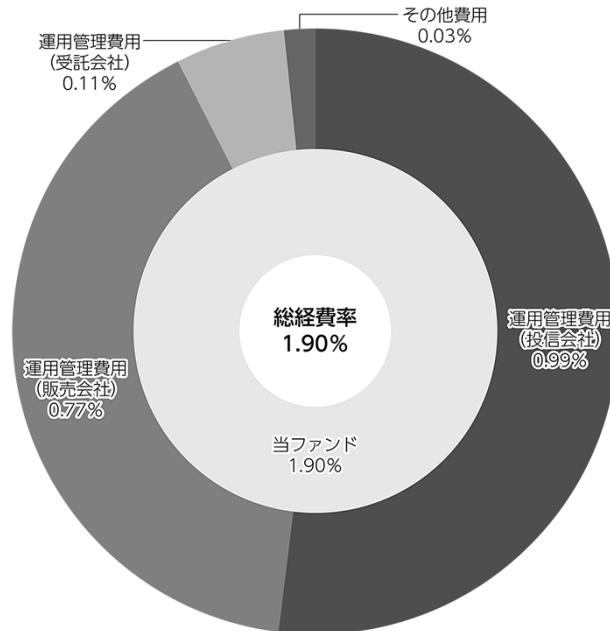
\* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

<Aコース>

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.90%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## &lt;Aコース&gt;

## ○売買及び取引の状況

(2022年4月12日～2023年4月10日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	千口 96,063	千円 767,000	千口 191,149	千円 1,545,500

\*単位未満は切り捨て。

## ○株式売買比率

(2022年4月12日～2023年4月10日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	5,051,156千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	13,724,461千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.36	

\* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2022年4月12日～2023年4月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2023年4月10日現在)

## 親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	千口 416,782	千口 321,696	千円 2,626,005

\*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

<Aコース>

○投資信託財産の構成

(2023年4月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	2,626,005	94.4
コール・ローン等、その他	155,354	5.6
投資信託財産総額	2,781,359	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（13,084,543千円）の投資信託財産総額（13,289,548千円）に対する比率は98.5%です。

\*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=132.62円、1カナダドル=98.18円、1英ポンド=164.69円、1スイスフラン=146.44円、1スウェーデンクローナ=12.66円、1デンマーククローネ=19.41円、1ユーロ=144.64円、1香港ドル=16.89円、1ウォン=0.1006円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年4月10日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	5,299,061,334
コール・ローン等	27,367,465
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド(評価額)	2,626,005,427
未収入金	2,645,688,442
(B) 負債	2,670,664,052
未払金	2,539,930,028
未払収益分配金	104,303,438
未払解約金	9,998
未払信託報酬	26,374,070
未払利息	37
その他未払費用	46,481
(C) 純資産総額(A-B)	2,628,397,282
元本	1,158,927,097
次期繰越損益金	1,469,470,185
(D) 受益権総口数	1,158,927,097口
1万円当たり基準価額(C/D)	22,680円

(注) 期首元本額は1,301,763,404円、期中追加設定元本額は136,394,554円、期中一部解約元本額は279,230,861円、1口当たり純資産額は2,2680円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額97,206,328円。(ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド)

○損益の状況

(2022年4月12日～2023年4月10日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 41,992
支払利息	△ 41,992
(B) 有価証券売買損益	△ 229,903,739
売買益	524,810,439
売買損	△ 754,714,178
(C) 信託報酬等	△ 56,366,053
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 286,311,784
(E) 前期繰越損益金	469,704,949
(F) 追加信託差損益金	1,390,380,458
(配当等相当額)	( 1,055,504,896)
(売買損益相当額)	( 334,875,562)
(G) 計(D+E+F)	1,573,773,623
(H) 収益分配金	△ 104,303,438
次期繰越損益金(G+H)	1,469,470,185
追加信託差損益金	1,390,380,458
(配当等相当額)	( 1,056,008,200)
(売買損益相当額)	( 334,372,258)
分配準備積立金	365,401,511
繰越損益金	△ 286,311,784

\*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

\*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。



## <Aコース>

(注) 分配金の計算過程 (2022年4月12日～2023年4月10日) は以下の通りです。

項 目	当 期
	2022年4月12日～ 2023年4月10日
a. 配当等収益(経費控除後)	0円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	1,104,068,674円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	469,704,949円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	1,573,773,623円
f. 分配対象収益(1万円当たり)	13,579円
g. 分配金	104,303,438円
h. 分配金(1万円当たり)	900円

## ○分配金のお知らせ

1万円当たり分配金(税込み)	900円
----------------	------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金(特別分配金)となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金(特別分配金)となります。

## ○お知らせ

- ①ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンドの運用の外部委託先であるピクテ投信投資顧問株式会社の名称をピクテ・ジャパン株式会社に変更する所要の約款変更を行ないました。  
 <変更適用日：2022年7月1日>
- ②信託期間を5年更新し、信託期間終了日を2029年4月10日とする所要の約款変更を行ないました。  
 <変更適用日：2022年12月23日>

## &lt;Bコース&gt;

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年4月12日～2023年4月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	614	1.865	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(325)	(0.987)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(253)	(0.768)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	( 36)	(0.110)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	5	0.014	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	( 5)	(0.014)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	2	0.006	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	( 2)	(0.006)	
(d) そ の 他 費 用	9	0.027	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 7)	(0.021)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 1)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	( 1)	(0.003)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	630	1.912	
期中の平均基準価額は、32,948円です。			

\* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

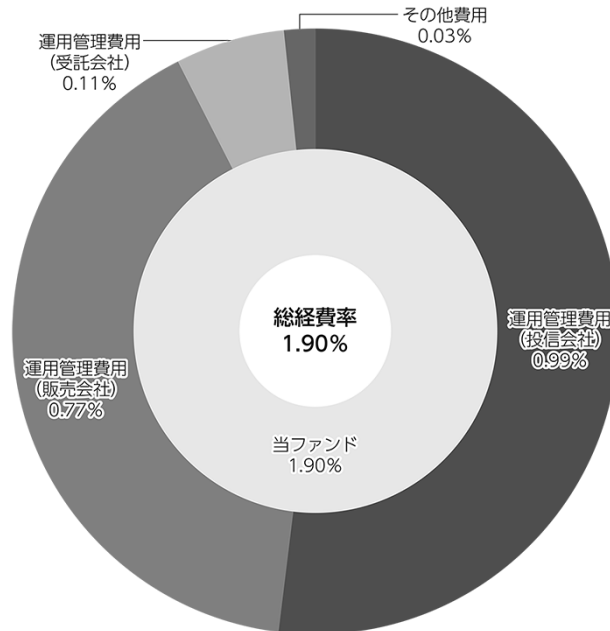
\* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

<Bコース>

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.90%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

<Bコース>

○売買及び取引の状況

(2022年4月12日～2023年4月10日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	千口 115,884	千円 934,200	千口 237,475	千円 1,918,500

\*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2022年4月12日～2023年4月10日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	5,051,156千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	13,724,461千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.36	

\* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2022年4月12日～2023年4月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年4月10日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	千口 1,346,348	千口 1,224,757	千円 9,997,697

\*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

<Bコース>

○投資信託財産の構成

(2023年4月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	9,997,697	94.2
コール・ローン等、その他	610,968	5.8
投資信託財産総額	10,608,665	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（13,084,543千円）の投資信託財産総額（13,289,548千円）に対する比率は98.5%です。

\*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=132.62円、1カナダドル=98.18円、1英ポンド=164.69円、1スイスフラン=146.44円、1スウェーデンクローナ=12.66円、1デンマーククローネ=19.41円、1ユーロ=144.64円、1香港ドル=16.89円、1ウォン=0.1006円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年4月10日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	10,608,665,173
コール・ローン等	104,467,383
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド(評価額)	9,997,697,790
未収入金	506,500,000
(B) 負債	519,431,263
未払収益分配金	417,158,843
未払解約金	597,846
未払信託報酬	101,495,379
未払利息	143
その他未払費用	179,052
(C) 純資産総額(A-B)	10,089,233,910
元本	3,208,914,180
次期繰越損益金	6,880,319,730
(D) 受益権総口数	3,208,914,180口
1万口当たり基準価額(C/D)	31,441円

(注) 期首元本額は3,314,157,286円、期中追加設定元本額は334,433,754円、期中一部解約元本額は439,676,860円、1口当たり純資産額は3,1441円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額97,206,328円。(ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド)

○損益の状況

(2022年4月12日～2023年4月10日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 81,034
支払利息	△ 81,034
(B) 有価証券売買損益	△ 18,811,680
売買益	48,451,468
売買損	△ 67,263,148
(C) 信託報酬等	△ 205,847,490
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 224,740,204
(E) 前期繰越損益金	3,185,147,753
(F) 追加信託差損益金	4,337,071,024
(配当等相当額)	( 2,732,555,105)
(売買損益相当額)	( 1,604,515,919)
(G) 計(D+E+F)	7,297,478,573
(H) 収益分配金	△ 417,158,843
次期繰越損益金(G+H)	6,880,319,730
追加信託差損益金	4,337,071,024
(配当等相当額)	( 2,734,156,568)
(売買損益相当額)	( 1,602,914,456)
分配準備積立金	2,767,988,910
繰越損益金	△ 224,740,204

\*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含まず。

\*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

\*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

**<Bコース>**

(注) 分配金の計算過程 (2022年4月12日～2023年4月10日) は以下の通りです。

項 目	当 期
	2022年4月12日～ 2023年4月10日
a. 配当等収益(経費控除後)	0円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	4,112,330,820円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	3,185,147,753円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	7,297,478,573円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	22,741円
g. 分配金	417,158,843円
h. 分配金(1万口当たり)	1,300円

**○分配金のお知らせ**

1万口当たり分配金(税込み)	1,300円
----------------	--------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金(特別分配金)となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金(特別分配金)となります。

**○お知らせ**

- ①ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンドの運用の外部委託先であるピクテ投信投資顧問株式会社の名称をピクテ・ジャパン株式会社に変更する所要の約款変更を行ないました。  
 <変更適用日：2022年7月1日>
- ②信託期間を5年更新し、信託期間終了日を2029年4月10日とする所要の約款変更を行ないました。  
 <変更適用日：2022年12月23日>

# ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド

## 運用報告書

第19期（決算日2023年4月10日）

作成対象期間（2022年4月12日～2023年4月10日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

#### ●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。 世界の水関連企業の株式を主体に、空気関連企業の株式も加えて投資を行なうことを基本とします。銘柄選定にあたっては、これらの投資対象企業の中から、高い成長が期待される企業、または安定した収益が期待される企業の株式を、ボトムアップの観点で調査・分析し、バリュエーションを勘案して投資銘柄を選定します。 株式の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資対象	世界の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

### 野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

<http://www.nomura-am.co.jp/>

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	円	騰落率	MSCI World Index Free (円換算ベース)	MSCI World Index Free (現地通貨ベース)			
15期(2019年4月10日)	47,544	11.2	318.89	10.9	99.3	—	7,972
16期(2020年4月10日)	46,015	△3.2	293.90	△7.8	96.7	—	10,200
17期(2021年4月12日)	68,345	48.5	447.03	52.1	98.5	—	12,383
18期(2022年4月11日)	81,967	19.9	535.27	19.7	98.4	—	14,451
19期(2023年4月10日)	81,630	△0.4	539.12	0.7	99.2	—	12,623

\*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

\*参考指数(=MSCI ワールド インデックス フリー (円換算ベース))は、MSCI World Index Free (現地通貨ベース)をもとに、当社が独自に円換算したものです。  
 \*MSCI World Index Free (現地通貨ベース)は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。  
 (出所: MSCI、ブルームバーグ)

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
	円	騰落率	MSCI World Index Free (円換算ベース)	MSCI World Index Free (現地通貨ベース)		
(期首) 2022年4月11日	81,967	—	535.27	—	98.4	—
4月末	79,877	△2.5	517.07	△3.4	95.9	—
5月末	79,645	△2.8	516.22	△3.6	98.7	—
6月末	77,741	△5.2	504.08	△5.8	98.9	—
7月末	82,461	0.6	524.01	△2.1	97.7	—
8月末	82,391	0.5	527.87	△1.4	99.2	—
9月末	78,275	△4.5	501.56	△6.3	98.8	—
10月末	85,029	3.7	548.45	2.5	99.0	—
11月末	83,458	1.8	534.27	△0.2	98.5	—
12月末	79,836	△2.6	502.02	△6.2	98.2	—
2023年1月末	81,389	△0.7	521.36	△2.6	99.0	—
2月末	83,843	2.3	538.83	0.7	99.2	—
3月末	82,675	0.9	537.03	0.3	99.0	—
(期末) 2023年4月10日	81,630	△0.4	539.12	0.7	99.2	—

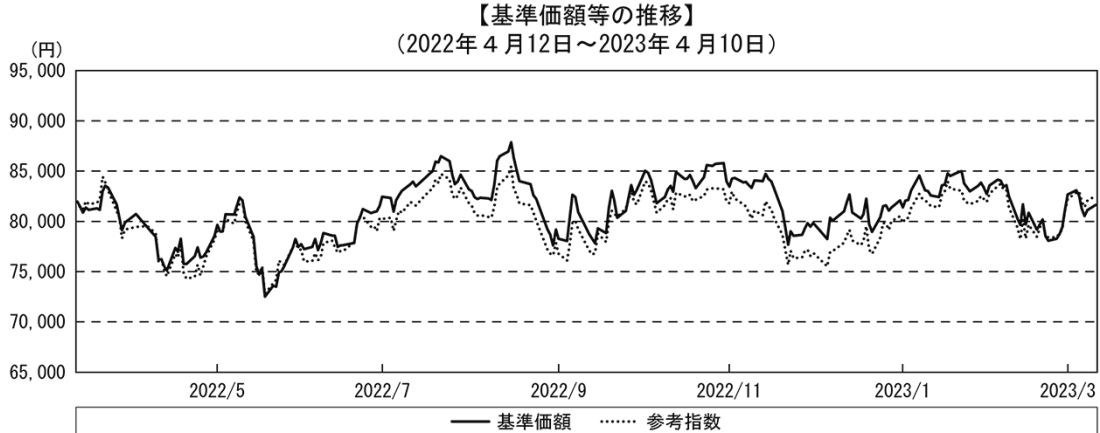
\*騰落率は期首比です。

\*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。



## ◎運用経過

### ○期中の基準価額等の推移



(注) 参考指数は、MSCI ワールド インデックス フリー (円換算ベース) です。作成期首の値が基準価額と同一となるように計算しております。

### ○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首81,967円から期末81,630円となりました。

#### (上昇)

- ・ 2022年7月、FRB（米連邦準備制度理事会）がFOMC（米連邦公開市場委員会）において市場想定通り0.75%の政策金利引き上げを決定し、過度な金融引き締め懸念が後退したことなど。
- ・ 2023年1月、2022年12月の雇用統計において賃金上昇率が前月から減速したこと、12月のISM非製造業景況感指数が市場予想に反して低下したことなどから、FRBの金融引き締め長期化への警戒が和らいだことなど。

#### (下落)

- ・ 2022年6月、5月の米国CPI（消費者物価指数）上昇率が4月と比較して加速したことで、FRBが金融引き締めを強化するとの警戒感が高まったことなど。
- ・ 2022年9月、8月の米国CPI上昇率が市場予想を上回ったことで、FOMCで大幅利上げが施されるとの観測が強まったこと、およびインフレが抑制されるまで利上げを継続するという米金融当局の姿勢が示されたことなど。

## ○投資環境

期中の世界株式市場は、各国の金融・財政政策の行方やインフレなどの影響を受ける展開となりました。

為替市場は、米ドル円、ユーロ円ともに上昇（円安）しました。

## ○当ファンドのポートフォリオ

前回の運用方針を元に当期間は以下のような運用を行ないました。

### ・株式組入比率

期を通じておおむね高位を維持しました。

### ・期中の主な動き

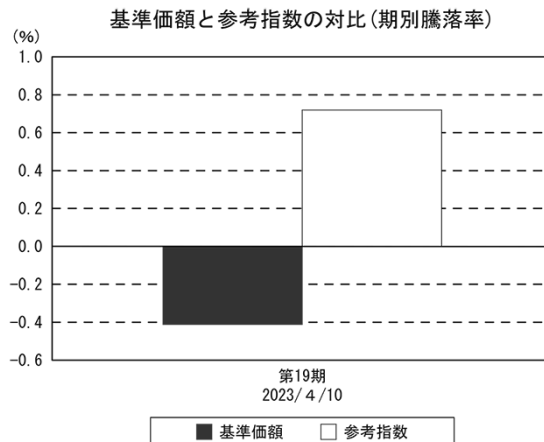
- (1) 世界の水関連企業の株式を主体に投資を行なうことを基本としました。
- (2) 銘柄選定にあたっては、上記の投資対象企業の中から、高い成長が期待される企業、または安定した収益が期待される企業の株式を、ボトムアップの観点で調査・分析し、バリュエーション（投資価値評価）を勘案して、投資銘柄を選定しました。
- (3) セクター、地域別では、
  - ①「装置製造・エンジニアリングセクター」と「上下水道ビジネスセクター」を中心に投資しました。
  - ②装置製造・エンジニアリングセクターについては、サプライチェーンの混乱の落ち着きによる利益率の改善、業績回復が見込める銘柄などに投資を行ないました。
  - ③上下水道ビジネスセクターについては、バリュエーションの観点から相対的に割安とみられる銘柄などに投資を行ないました。
  - ④環境マネジメント・サービスセクターについては、ビジネスモデルが景気後退局面に対する耐性があると期待される銘柄などに投資を行ないました。
  - ⑤主な売買では、カナダのエンジニアリングサービス会社の株式などを新規に組み入れ、一方で米国のテクノロジー・サービス・ソリューション供給会社の株式などを全売却しました。また、米国の水処理装置やサービスを提供する企業を買い増しし、米国の住宅リフォームや建築用品を扱うメーカーの株式などを一部売却しました。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているMSCI ワールド インデックス フリー（円換算ベース）の0.7%の上昇に対し、基準価額0.4%の下落となりました。当ファンドは、世界の水関連企業の株式を主体に投資を行っており、投資している業種や銘柄には特色があります。このためMSCI ワールド インデックス フリー（円換算ベース）とは異なった動きをしております。



(注) 参考指数は、MSCI ワールド インデックス フリー（円換算ベース）です。

## ◎今後の運用方針

2023年の見通しについては不透明感があり、世界各国のPMI（購買担当者景気指数）や企業の景況感がどのように推移するのか見通しにくい状況が続く可能性があります。FRBやECB（欧州中央銀行）による今後の金融政策動向に加え、これらの政策が株式のバリュエーションにどのように影響を及ぼすかなど注視していきます。一方で、インフレは足元鈍化しており一部経済指標は引き続き底堅い景気推移を示していることなどから、大幅な景気後退は避けられるとの見方もあります。今後については、各国の金融政策動向や経済指標、企業決算などを慎重に見極めていく必要があります。

中長期的に見ると、水関連インフラへの投資は必要不可欠であり、世界的に事業展開を行なう水関連銘柄のファンダメンタルズは堅調であると考えます。温暖化の影響から世界的な気候変動によって引き起こされる干ばつや洪水の問題なども、水関連インフラへの投資を呼び起こしています。経済活動の支えだけではなく、人々の生活を支える水関連銘柄は引き続き魅力的な投資対象であると考えています。

こうした環境の中、個別銘柄の選択に重点をおいた運用を継続します。足元の市場のボラティリティ（価格変動性）の高まりは個別銘柄のミスプライス（誤った値付け）をもたらし、魅力的な投資機会を与えるものと考えます。引き続き装置製造・エンジニアリングセクターと上下水道ビジネスセクターを中心としたバーベル型の運用（景気回復に伴って業績の回復が期待されるセクターと景気に左右されにくく、安定した業績を維持するセクターの保有）を行なっていきます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年4月12日～2023年4月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 )	円 11 (11)	% 0.014 (0.014)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 ( 株 式 )	5 ( 5 )	0.006 (0.006)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( そ の 他 )	19 (17) ( 2 )	0.024 (0.021) (0.003)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	35	0.044	
期中の平均基準価額は、81,385円です。			

\*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2022年4月12日～2023年4月10日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	上場	千株 0.7	千円 1,571	千株 21	千円 42,834
	アメリカ	百株 1,001 ( 251)	千米ドル 9,694 ( -)	百株 2,513	千米ドル 17,334
外 国	カナダ	73	千カナダドル 1,121	53	千カナダドル 415
	イギリス	685	千英ポンド 1,376	875	千英ポンド 1,604
	スイス	4	千スイスフラン 227	11	千スイスフラン 561
	スウェーデン	15	千スウェーデンクローナ 492	92	千スウェーデンクローナ 2,903
	デンマーク	6	千デンマーククローネ 290	66	千デンマーククローネ 2,662
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	120	816	35	239
イタリア	44	15	432	109	
フランス	35	91	466	1,215	
オランダ	11	45	122	480	
香港	1,230	千香港ドル 1,118	2,294	千香港ドル 3,027	
韓国	-	千ウォン -	35	千ウォン 192,175	

\*金額は受け渡し代金。

\*単位未満は切り捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

\* ( )内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2022年4月12日～2023年4月10日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	5,051,156千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	13,724,461千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.36

\* (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2022年4月12日～2023年4月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年4月10日現在)

国内株式

銘柄	期首(前期末)		当 期		末
	株 数	株 数	株 数	株 数	評 価 額
機械 (100.0%)		千株		千株	千円
クボタ	65.5		44.6		84,360
合 計	株 数 ・ 金 額	65.5	44.6		84,360
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1		< 0.7% >

\*各銘柄の業種分類は、期首、期末の各時点での分類に基づいています。

\*銘柄欄の( )内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

\*評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

\*評価額の単位未満は切り捨て。

外国株式

銘柄	期首(前期末)		当 期		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
AECOM	225	236	1,900	252,030	建設・土木
ADVANCED DRAINAGE SYSTEMS INC	142	134	1,041	138,162	建設関連製品
AGILENT TECHNOLOGIES INC	197	188	2,603	345,297	ライフサイエンス・ツール/サービス
AMERICAN STATES WATER CO	108	101	944	125,236	水道
AMERICAN WATER WORKS CO INC	354	315	4,796	636,074	水道
CALIFORNIA WATER SERVICE GRP	159	142	858	113,919	水道
CIA SANEAMENTO BASICO DE-ADR	2,171	2,000	1,988	263,680	水道
CORE & MAIN INC-CLASS A	488	421	926	122,847	商社・流通業
DANAHER CORP	225	175	4,331	574,467	ライフサイエンス・ツール/サービス
ECOLAB INC	146	161	2,699	358,012	化学
ESSENTIAL UTILITIES INC	608	507	2,287	303,353	水道
EVOQUA WATER TECHNOLOGIES CO	104	232	1,113	147,613	機械
FORTUNE BRANDS INNOVATIONS INC	266	263	1,460	193,637	建設関連製品
GFL ENVIRONMENTAL INC - SUB VT	645	502	1,710	226,804	商業サービス・用品
HAYWARD HOLDINGS INC	70	—	—	—	建設関連製品
IDEX CORP	142	123	2,684	355,986	機械
LESLIE'S INC	545	298	326	43,308	専門小売り
MASCO CORP	245	103	485	64,349	建設関連製品

銘柄	株数	株数	当期		業種等	
			評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
MIDDLESEX WATER CO	77	72	587	77,952	水道	
PARKER HANNIFIN CORP	—	18	576	76,414	機械	
PERKINELMER INC	142	—	—	—	ライフサイエンス・ツール/サービス	
POOL CORP	48	44	1,449	192,285	販売	
REPUBLIC SERVICES INC-CL A	357	326	4,430	587,514	商業サービス・用品	
ROPER TECHNOLOGIES INC	50	42	1,841	244,246	ソフトウェア	
SITEONE LANDSCAPE SUPPLY INC	58	37	480	63,789	商社・流通業	
SMITH (A. O.) CORP	164	143	924	122,631	建設関連製品	
TETRA TECH INC	77	95	1,328	176,215	商業サービス・用品	
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	81	78	4,510	598,138	ライフサイエンス・ツール/サービス	
TORO CO	144	138	1,400	185,679	機械	
TRIMBLE INC	209	182	892	118,414	電子装置・機器・部品	
WASTE CONNECTIONS INC	322	292	4,035	535,191	商業サービス・用品	
WASTE MANAGEMENT INC	249	255	4,175	553,749	商業サービス・用品	
XYLEM INC	255	271	2,723	361,198	機械	
ZURN ELKAY WATER SOLUTIONS CORP	180	153	308	40,873	建設関連製品	
PENTAIR PLC	395	342	1,799	238,687	機械	
小計	株数・金額	9,664	8,403	63,623	8,437,767	
	銘柄数<比率>	34	33	—	<66.8%>	
(カナダ)			千カナダドル			
STANTEC INC	272	231	1,805	177,241	建設・土木	
WSP GLOBAL INC	—	60	1,025	100,637	建設・土木	
小計	株数・金額	272	292	2,830	277,878	
	銘柄数<比率>	1	2	—	<2.2%>	
(イギリス)			千英ポンド			
HALMA PLC	316	302	657	108,311	電子装置・機器・部品	
SEVERN TRENT PLC	947	926	2,740	451,407	水道	
UNITED UTILITIES GROUP PLC	1,971	1,973	2,151	354,384	水道	
FERGUSON PLC	300	288	2,864	471,755	商社・流通業	
PENNON GROUP PLC	1,296	1,152	1,017	167,582	水道	
小計	株数・金額	4,833	4,642	9,432	1,553,441	
	銘柄数<比率>	5	5	—	<12.3%>	
(スイス)			千スイスフラン			
GEBERIT AG-REG	55	48	2,331	341,414	建設関連製品	
小計	株数・金額	55	48	2,331	341,414	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<2.7%>	
(スウェーデン)			千スウェーデンクローナ			
ALFA LAVAL AB	483	406	14,605	184,907	機械	
小計	株数・金額	483	406	14,605	184,907	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<1.5%>	
(デンマーク)			千デンマーククローネ			
NOVOZYMES A/S-B SHARES	365	305	10,350	200,899	化学	
小計	株数・金額	365	305	10,350	200,899	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<1.6%>	
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ			
BRENTAG SE	163	249	1,687	244,042	商社・流通業	
小計	株数・金額	163	249	1,687	244,042	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<1.9%>	

銘柄	株数	株数	期末		業種等	
			評価額	評価額		
		株数	株数	外貨建金額	邦貨換算金額	
(ユーロ…イタリア)		百株	百株	千ユーロ	千円	
HERA SPA		3,743	3,355	911	131,800	総合公益事業
小計	株数・金額	3,743	3,355	911	131,800	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<1.0%>	
(ユーロ…フランス)						
VEOLIA ENVIRONNEMENT		1,835	1,404	4,025	582,223	総合公益事業
小計	株数・金額	1,835	1,404	4,025	582,223	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<4.6%>	
(ユーロ…オランダ)						
AALBERTS NV		320	210	864	125,100	機械
小計	株数・金額	320	210	864	125,100	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<1.0%>	
ユーロ計	株数・金額	6,063	5,219	7,488	1,083,166	
	銘柄数<比率>	4	4	—	<8.6%>	
(香港)				千香港ドル		
GUANGDONG INVESTMENT		6,928	6,928	5,258	88,815	水道
CHINA LESSO GROUP HOLDINGS LTD		4,480	4,060	2,760	46,629	建設関連製品
HAIER SMART HOME CO LTD-H		4,162	3,518	8,443	142,605	家庭用耐久財
小計	株数・金額	15,570	14,506	16,462	278,051	
	銘柄数<比率>	3	3	—	<2.2%>	
(韓国)				千ウォン		
COWAY CO LTD		186	151	758,120	76,266	家庭用耐久財
小計	株数・金額	186	151	758,120	76,266	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<0.6%>	
合計	株数・金額	37,494	33,974	—	12,433,793	
	銘柄数<比率>	51	51	—	<98.5%>	

\* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

\* 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

\* 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

\* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

## ○投資信託財産の構成

(2023年4月10日現在)

項目	期末	
	評価額	比率
株式	千円	%
	12,518,154	94.2
コール・ローン等、その他	771,394	5.8
投資信託財産総額	13,289,548	100.0

\* 金額の単位未満は切り捨て。

\* 当期末における外貨建純資産（13,084,543千円）の投資信託財産総額（13,289,548千円）に対する比率は98.5%です。

\* 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=132.62円、1カナダドル=98.18円、1英ポンド=164.69円、1スイスフラン=146.44円、1スウェーデンクローナ=12.66円、1デンマーククローネ=19.41円、1ユーロ=144.64円、1香港ドル=16.89円、1ウォン=0.1006円。



## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年4月10日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	13,868,089,074
コール・ローン等	719,007,332
株式(評価額)	12,518,154,702
未収入金	616,839,169
未取配当金	14,087,871
(B) 負債	1,244,322,692
未払金	610,022,571
未払解約金	634,300,000
未払利息	121
(C) 純資産総額(A-B)	12,623,766,382
元本	1,546,453,904
次期繰越損益金	11,077,312,478
(D) 受益権総口数	1,546,453,904口
1万口当たり基準価額(C/D)	81,630円

(注) 期首元本額は1,763,130,739円、期中追加設定元本額は211,947,575円、期中一部解約元本額は428,624,410円、1口当たり純資産額は8,1630円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額  
 ・ワールド・ウォーター・ファンド Bコース 1,224,757,784円  
 ・ワールド・ウォーター・ファンド Aコース 321,696,120円

## ○損益の状況 (2022年4月12日～2023年4月10日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	214,466,198
受取配当金	213,315,886
受取利息	1,092,376
その他収益金	155,400
支払利息	△ 97,464
(B) 有価証券売買損益	△ 276,546,602
売買益	1,177,935,285
売買損	△ 1,454,481,887
(C) 保管費用等	△ 3,294,087
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 65,374,491
(E) 前期繰越損益金	12,688,810,134
(F) 追加信託差損益金	1,489,252,425
(G) 解約差損益金	△ 3,035,375,590
(H) 計(D+E+F+G)	11,077,312,478
次期繰越損益金(H)	11,077,312,478

\* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

\* 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ○お知らせ

運用の外部委託先であるピクテ投信投資顧問株式会社の名称をピクテ・ジャパン株式会社に変更する所要の約款変更を行ないました。  
 <変更適用日：2022年7月1日>